

■赤崎勇 中部支部名誉顧問、 ご逝去

赤崎勇（あかさき・いさむ）先生が4月1日午前、肺炎のため名古屋市の病院でご逝去されました。92歳でした。1929年1月30日、鹿児島県生まれ。名古屋大学特別教授、名城大学特別栄誉教授。文化功労者、文化勲章受章者、日本学士院会員。「20世紀中には無理」と言われた青色LED（発光ダイオード）を幾多の困難を克服して1989年に発明し、この功績で天野浩会員らとともに2014年にノーベル物理学賞を受賞されました。

赤崎先生のご逝去の報に接し、日本工学アカデミー中部支部運営委員会一同からの追悼の言葉が、中部支部Webサイトに掲載されています。長年にわたる学術への多大なご貢献に敬意を表するとともに、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



Copyright © Nobel Media AB 2014 Photo : Alexander Mahmoud

■本島修 中部支部会員、 レジオンドヌール勲章を受賞

本島修（もとじま・おさむ）中部大学理事、国際核融合エネルギー機構（以下、ITER機構、フランス所在）名誉機構長が4月13日、フィリップ・セトン駐日フランス大使により、レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエに叙されました。

本島氏は第2代ITER機構長としてITER施設の建設の初期段階を指揮したことで、フランスから高く評価されました。機器・施設の設計段階の終了後、建設のスケジュールを設定、プロジェクトに参加するさまざまな国・地域（日本、ヨーロッパ連合、ロシア、アメリカ、中国、韓国、インド）で機器製作を始動させるとともに、フランス原子力安全機関（ASN）から建設許可を取得しました。セトン駐日フランス大使は叙勲式で、本島氏がこの途方もない任務を首尾よく遂行するために発揮した高い科学的・技術的知見、人間性、統率力に改めて触れました。

本島氏は答礼のあいさつで、物納機器・施設全体の90%を占める調達取り決めに参加国と署名するに至ったITER機構のチームを誇らしく感じた思い出を語り、核融合分野における長年の充実した日仏協力がこれまで同様続くことを願いました。

（在日フランス大使館Webサイトより）

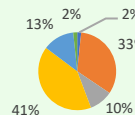
※叙勲の様子はITER機構WebサイトのNEWSにも写真付きで掲載されています。

■EAJC通信を始めました！ EAJC井戸端会議も始まります

日本工学アカデミー中部支部（EAJC）では、さらなる活動の活性化を目指して、中部レクチャーをはじめとする魅力的な企画を模索中です。

昨年末に発足した「企画推進部会」では、今年度はまず、次の3つを試みます。

- ①会員アンケート調査
- ②EAJC井戸端会議
- ③EAJC通信



①は5月31日まで回答募集中です。お寄せいただいたお声は、②や③で共有させていただきます。②の「ムダと“間”を楽しもう！EAJC井戸端会議」は、気楽なおしゃべりの中から共通の想いや活動のあり方を模索・整理する試みです。コロナ禍で、ちょっとした立ち話をする機会も減りましたが、ステイホームの夜や休日に、お茶やアルコール片手に、オンラインで集まっておしゃべりしませんか。そのおしゃべりデータに基づいて、EAJCの活動をナラティブに企画推進してみたいです。ぜひご参加いただき、この試みを一緒に育てていただけたらと思います。



（日本工学アカデミー中部支部 企画推進部会/
足立吉隆・伊藤みほ・川澄未来子）